

す

わ



SUWA City 80th
シゼンとヒトがつながる、すわ。

No.87

令和4年(2022)2月1日

Guide to SuwaCity Council

市議会だより

目次

年頭のご挨拶	2
議会 TOPICS	3
審議結果	4
常任委員会報告	5
代表質問	7
一般質問	10
モニター通信	15
議長室からこんにちは!	16



「議員と語っちゃオ!!」開催!

いまこそ

SUWAのこれからを語り合おう



令和3年12月定例会

R3.11.30▷R3.12.16

同意 2件

承認 1件

議案 9件

請願 1件

議員議案 1件 が審議されました。

見どころ

- 年頭のご挨拶 2P
- 議員と語っちゃオ!! 3P
- 用語解説 Special 9P



諏訪市議会 🔍 検索

令和四年 年頭のご挨拶



議長

吉澤 美樹郎

副議長

小松 孝一郎

新年明けましておめでとうございます。

心穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

諏訪市において昨年は、市制施行80周年の喜ばしい節目を迎え、未来につながる話題の多い年でありました。本年も更なる飛躍の年となるよう期待をいたします。

未だ新型コロナウイルス感染症には予断を許せぬ状況が続いておりますが、ピンチであるからこそ新たな力が湧いてくるものだと信じております。

市議会としましては、市民のみなさまの声に耳を傾け、さらなる市政発展のために邁進してまいりますので、今後ともご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会文教委員会



牛山 智明

藤森 靖明 副委員長

井上 登

小山 博子 委員長

近藤 一美

岩波万佐巳

伊藤 浩平

総務産業委員会



森山 博美

横山 真

牛山 正 委員長

小泉 正幸 副委員長

高木 智子

小松 孝一郎

廻本多都子



「議員と語っちゃオ!!」を開催しました



市民の皆さまと議員との意見交換会「議員と語っちゃオ!!」が11月15日と24日の昼夜、計4回開催されました。総務産業委員会と社会文教委員会のそれぞれが所管するテーマを設定し、意見交換を実施しました。

総務産業委員会は「防災力の向上 安全安心なまちづくり」と「産業における諏訪市の展望」の2テーマ、社会文教委員会は「教育・保育について」「市民生活について」「子育てについて」の3テーマです。45名（傍聴者1名含む）の市民の皆さまにご参加いただき、テーマ毎に熱い意見交換をすることができました。また、様々な観点から貴重なご意見をいただきました。我々議員は、これらのご意見を今後の議員活動に活かしてまいります。

なお、「議員と語っちゃオ!!」で出されたご意見は市議会 HP にアップしましたのでご確認ください。



語っちゃオ 検索

参加者より



守屋 輝代さん

色々な考え方の人がいるので勉強になりました。また参加したいと思います。



太田 篤憲さん

2テーマに参加し、他地域の意見を聞いて参考になりました。もっと開催してほしいと思います。



令和3年第6回(12月)定例会審議結果

《全会一致で決定された案件》

- 同意
 - 第8号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
 - 第9号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 承認
 - 第6号 専決処分の承認を求めるについて
(令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第10号))
- 議案
 - 第42号 諏訪市手数料徴収条例の一部改正について
 - 第43号 諏訪市国民健康保険条例の一部改正について
 - 第44号 工事請負契約の変更について
 - 第45号 公の施設の指定管理者の指定について
 - 第46号 諏訪市総合計画基本構想を定めるについて
 - 第47号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第11号)
 - 第48号 令和3年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 - 第49号 令和3年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - 第50号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第12号)
- 議員議案
 - 第6号 諏訪市議会基本条例の一部改正について

《全会一致とならなかった提出案件の審議結果と各議員の賛否一覧》

賛成…○ 反対…× なお、議長(吉澤美樹郎)は、採決には加わりません。

区分	番号	件名	岩波万佐巳	牛山智明	井上登	廻本多都子	近藤一美	小松孝一郎	横山真	小山博子	高木智子	牛山正	藤森靖明	森山博美	小泉正幸	伊藤浩平	議決結果
請願	1	75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

請願第1号 75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書

《社会文教委員長報告より》

◎ 請願の趣旨

75歳以上の高齢者医療費窓口負担2割化法の可決に伴い、窓口負担が2割となる高齢者の医療受診抑制を防ぐために、現状維持を求める意見書を国に提出することを求めるもの。

◎ 討論

財源の4割を現役世代が既に負担。今後の負担軽減のため、一定以上所得のある高齢者に応分の負担をいただき、国民皆保険を維持するために必要と考えるため不採択。

この見直しで、現役世代の負担はわずかしか軽減されないのに対し、一部の高齢者の負担は3万円近く増えてしまうため、現状維持すべきだと思うので採択。

◎ 採決の結果

賛成少数で不採択。

議員議案 1件の条例を一部改正しました

◎ 諏訪市議会基本条例の一部を改正！！

令和3年5月10日に公布された、災害対策基本法等の一部を改正する法律に基づき、諏訪市議会基本条例第9条第1項中、災害等が「発生した」を「発生し、又は発生するおそれがある」に改めるもので、全議員の賛同の下、可決されました。

◎議案第43号 諏訪市国民健康保険
条例の一部改正について

議案の内容

産科医療補償制度における掛金の見直しを踏まえ、出産育児一時金の支給額を引き上げるための改正。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第45号 公の施設の指定管理者の指定について

議案の内容

現行の指定管理者の指定期間が3月末で満了となるすわっこランドの指定管理候補者が選定されたため、議会の議決が求められるもの。

主な質疑

問 選定にあたり、ウエイトを置いた市民サービスの向上の具体的な提案は。

答 女性が普段着で利用できるサークットトレーニングや、小学生の体向上プログラムのほか、介護予防。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第47号 令和3年度 諏訪市
一般会計補正予算(第11号)

議案の内容

主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 保育園の自動水栓は、保育室のほかはどこに設置するのか。①

答 職員室、廊下、トイレ等の一部を予定。

問 健康管理システム改修において、病院間の情報共有は。②

答 目指すところは医療機関も含めてだが、まずは個人が全国どこにいても、自分の情報を確認できることが今回のシステム改修の内容。

問 3回目の個別接種の医院は2回目と同じ場所か。

答 前回、市内の23医療機関で行った。今回、1医療機関がでなくなつたが、別の医療機関で行えるようになったため、数に変更はない。

問 小中学校の手洗器の自動水栓化の工事箇所は何か所か。③

答 各学校に希望を取り、9校17か所で、全数の2割程度である。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第50号 令和3年度諏訪市一般
会計補正予算(第12号)

議案の内容

主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 申請が必要な方への支給開始は

答 申請受付後随時支給。早ければ12月27日から支給が可能となる。いつごろか。④

採決の結果

全会一致可決。

補正予算 議案第47号・50号 《社会文教付託分 ※12/8 即決含む》

項目	議案	補正額	主な内容
民生費	第47号	1億6,698万8千円	国民健康保険会計繰出金 2,680万3千円
			障害者福祉費(相談支援、訓練等・介護サービス、障害児通所の給付費など) 1億400万円
			後期高齢者医療広域連合関係経費 2,432万3千円
			公立保育園における手洗器自動水栓化に係る工事請負費等① 789万9千円
	第50号	3億9,760万5千円	子育て世帯臨時特別給付金給付費② 3億6,500万円 生活困窮者自立支援等事業費 2,663万5千円
衛生費	第47号	7,441万6千円	新型コロナウイルスワクチン接種事業費 7,203万6千円
			検診事業費(健康管理システム改修に係る委託料)③ 238万円
教育費	第47号	930万9千円	小中学校における新型コロナウイルス感染症対策費 130万円
			小中学校における手洗器自動水栓化に係る工事請負費④ 800万9千円

※災害復旧費、人事異動等による一般人件費の補正額は総務産業委員会の報告のとおり
※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

◎議案第42号 諏訪市手数料徴収条例の一部改正について

議案の内容

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」等の改正によって長期優良住宅建築等計画の認定に係る申請方法や認定基準が見直されることに伴い、手数料の額などが改正されるもの。

主な質疑

問 改正によって市の手数料収入への影響、職員の審査時間等の負担は。

答 合理化によって金額が統一されたので、同じ条件で申請されたとすれば、4万円程度の増収、審査業務時間は改正前後で特に変わらない。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第44号 工事請負契約の変更について

議案の内容

令和3年3月17日に契約をした令和2年度補助事業（改築）（仮称）諏訪湖スマートICアクセス工事・社会资本整備総合交付金事業市道33112号線道路改良合冊工事について、追加の地質調査を行った結果、施

工方法の見直しなどが必要となったため、工事請負契約が変更されるもの。議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を必要とするもの。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第46号 諏訪市総合計画基本構想を定めるについて

議案の内容

市政運営における最上位の計画である第六次諏訪市総合計画が策定されるにあたり、市のまちづくりに対する基本的な政策を示した基本構想について、諏訪市議会基本条例及び諏訪市総合計画条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第47号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第11号)

議案の内容

主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 総務費の統合型GISはそれぞれ持っているものを、一括管理していくということでのいいのか。①

答 庁内のそれぞれの部署で持っているGISを統合してバラバラに管理している地図情報やエクセル管理等を一つにまとめたい。

問 商工費の新技術・新製品開発補助金について、どのようなものが開発されたのか。②

答 審査会で合格した企業に、開発

費2分の1、上限100万円を補助する。昨年の例をあげると、市販の鉄パイプを利用して、安価でプラズマ発生装置を開発した企業や飲食時に便利な跳ね上げ式フェイスシールドを開発した企業など、独自開発をした企業が受けている。

採決の結果

全会一致可決。

議案第47号《総務産業付託分》

項目	補正額	主な内容
総務費	2,367万9千円	・業務スマート化推進事業費 (統合型及び公開型地理情報システム(GIS)構築に係る委託料)① 2,225万3千円 ・循環バス運行事業費 142万6千円
民生費	300万円	・災害対策本部費 300万円
商工費	1億 4,198万7千円	・商工業振興事業補助金 660万1千円 ・新技術・新製品開発費補助金② 500万円 ・商工業利子・保証料補給金 3千円 ・経済的に影響を受けている飲食店等を支援するための支援金 3,438万6千円 ・観光宣伝事業費(すわ泊お宿割) 6,600万円
土木費	1,500万円	・スマートIC整備事業費 1,500万円
公債費	1,299万1千円	・市債償還元金 2,513万5千円 ・市債償還利子 △1,214万4千円
人事異動等による一般人件費		△5,440万5千円

《両常任委員会付託分 一括報告（※多数の費目に係るため一括で記載）》

項目	補正内容
災害復旧費（8月14日及び9月5日の大雨災害による復旧事業の実施に係るもの）	財源振替

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。



牛山 正

●新型コロナウイルス拡大防止対策

問 市内のワクチン接種の状況と3回目接種については。

答 11月中旬に、希望される方の接種は概ね完了。12月1日現在、65歳以上接種率92.4%、12歳以上接種率87.0%、全人口に対する2回目接種率は79.2%となっている。3回目接種は、厚生労働省の通知により原則8ヶ月以上経過した18歳以上を対象として、医療従事者を中心に12月から接種を開始しており、令和4年3月から5月が接種のピークと見込んでいる。

問 第6波感染拡大を見据え、防止策と医療体制の整備は。

答 防止策としては、正確な情報提供、信州版「新たな日常のすゝめ」など新たな生活様式の定着と感染症対策の啓発、ワクチン接種体制の構築などに努めていく。医療体制は、県の方針において、感染拡大のスピード、重症者の抑制、医療提供体制の崩壊

防止、一般医療とコロナ医療の両立をしつつ病床の拡充を図る。

●防災・減災について

問 8月、9月に発生した大雨で、内水氾濫が発生。市の今後の対策は。

答 浸水被害地区の恒久的な対応として、道路のかさ上げの検討、水系や流入量調査を行い、内水排除ポンプの新設・増設を検討していく。諏訪湖の水位上昇を抑える対応として、河川整備計画に沿った天竜川下流域の早期完了による釜口水門からの最大放流量の確保、水門操作規則等、国・県など関係機関に要望していく。



堆積土に繁茂する「カトギ」

問 相次ぐ大雨により河川に堆積土が溜まっている。除去の計画は。

答 8月、9月の大雨により河川に溜まった堆積土は、西沢川から権現沢川まで撤去が終わり、順次他の河川についても撤去を進めていく。一級河川を管理する諏訪建設事務所は千本木川の土砂撤去、上川の土砂撤去、植生水路整備を進めており、他の河川についても堆積土の撤去とカトギ、葦等の除去に対する要望をしていく。

●脱炭素社会の実現に向けた取組について

問 市のグリーンイノベーションの推進は。

答 令和3年度、第三次環境基本計画、地球温暖化対策実行計画を策定している。市民・事業者寄り添い、環境に対する賢い投資・行動・選択・消費等の行動変容を促し、グリーンイノベーションの流れを後押ししていく。

問 諏訪市が他市に先駆けて、グリーンボンド、ESG(社会環境・ガバナンス)債権への投資をした目的は。

答 グリーンボンドとは、気候変動の緩和など環境問題への取組に対し、地方公共団体や企業が持続型社会達成のための事業資金を調達するために発行する債券である。昨年に引き続き今年も2回目の投資をした。諏訪市での資金充当状況として、令和2年度に森林保全として、四賀、細久保地籍の治山事業に活用した。

ESG債権への投資は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が開発途上国のジェンダー平等などの推進を目的に発行するジェンダーボンドに投資を行った。債権投資で利益を得るだけでなく、債権を購入することによって、持続可能な社会の形成に寄与し、債権により調達した資金は各事業へ充当する事によってSDGs達成に貢献する。

●中山間地の活性化について

問 高齢化等で衰退する中山間集落を維持するための市の支援策は。

答 中山間地域で実施されている農業や森林管理は、防災等の多面的な機能を有しており、大切にしながらはならない集落と考えている。「住み続けられるまちづくりを」という観点からも、農業支援、鳥獣ネット補助など今後も続けていく。



高木 智子



●諏訪市の安心安全な住まいについて

問 空き家の現状をどう考えるか。
答 平成30年度の住宅・土地統計調査では本市の空き家率は全国平均13.5%、長野県平均19.5%を上回る22.3%となっている。空き家対策は市として対応すべき重要課題の一つと認識している。

問 空き家バンク仲介手数料補助金は現在移住者のみが対象だが、空き家活用促進のために市内在住者も対象にして補助金の拡充をできないか。

答 この補助金は移住促進のために設けた制度である。しかし空き家対策は重要であると認識しているのので、庁内連携して考える課題と捉え、多方面から検討していく。

問 本市は人口の割にマンションが多くと感じるが市内マンションの管

答 理状況を把握しているか。把握はしていない。

問 2020年6月にマンション管理適正化法が改正された。この制度が作られた背景には老朽化マンション増加の懸念があるが、当市でもこの制度を取り入れたらいいのではないか。

答 この制度の改正による地方自治体の具体的推進施策は①マンション管理適正化推進計画制度②管理計画認定制度③管理適正化のための指導・助言等がある。これらにより、管理不適切なマンションを減らし管理水準の底上げを目的としている。まずは改正内容を研究していきたいと考えている。



諏訪市の空き家率は 22.3%

●学校における子ども達への支援は

問 市内に小中合わせて39クラスの支援学級があるが支援員の人数は。

答 学習支援員が各校に1名で合計10名、自立生活支援員が各校2〜4.5名で合計で小学校20名、中学校11名。

問 それぞれの役割は。

答 学習支援員は通常学級で授業についていけない、落ち着いて取り組めない児童へ学習面の支援をする。自立生活支援員は通常学級及び支援学級で障害や特性を持った児童へ自律的な生活習慣の定着を図るための支援を行っている。

問 支援員の拡充が必要では。

答 支援が必要な児童生徒の数は年々増加。拡充は必要と考えており必要な支援員の確保に努めたい。

問 発達障害の知識を習得し、支援員の資質を向上することを目的とした研修等を考えてはどうか。

答 特別な支援が必要な児童生徒に適切な対応ができるようになることは大変重要と認識しているので、機会を捉えて学ぶ場を提供していきたい。

用

公営企業とは？



語

公営企業は地方公営企業法という法律に則り、運営されています。住民の福祉の増進を目的として設立され、地方公共団体に帰属した企業です。

解

諏訪市では上水道事業、下水道事業、温泉事業の3事業を公営企業で運営しています。

説

公営企業の経営は料金収入によって賄われていて、独立採算制をとっています。支出が収入を上回る場合は資金の不足が出ないように他会計から財源の繰り入れをしています。

代表質問

日本共産党諏訪市議員団



井上 登



●脱炭素に向けた諏訪市の取組

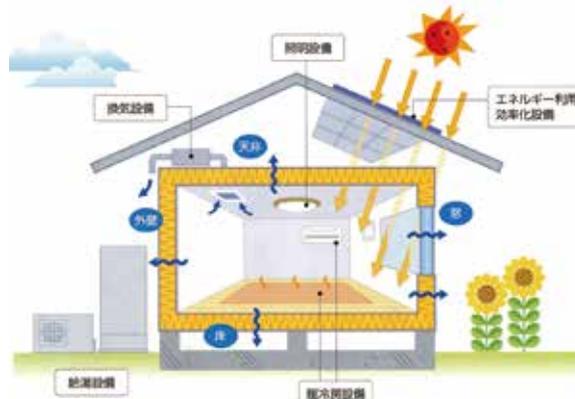
問 脱炭素に向け、諏訪市における計画は。また、諏訪市の「CO₂排出ゼロ表明」の時期は。

答 脱炭素の取組は、待ったなしの課題。諏訪市では、地球温暖化実行計画の事務事業編では2030年の削減目標に向けて取組を推進している。区域施策編は改定作業中であり、令和4年度より次期計画がスタートする。

問 再生エネルギーを巡っては乱開発に伴う森林破壊、生態系への深刻な影響、土砂災害の発生など環境破壊によるトラブルが発生している。こうした問題を踏まえ、諏訪市においては条例制定に向けて条例趣旨案が示されている。違反事例への対応で罰則を設けていないが歯止めとなっているか。

答 条例趣旨案では、合意形成を重視。手続きの瑕疵や虚偽の届出があ

った場合には、必要な措置を講ずるよう勧告をすることができ、従わない場合は、事業者の公表、国及び県への報告などペナルティ的な措置は設けている。



外皮性能と一次エネルギー消費量のイメージ

●国民健康保険税の軽減を

問 国では令和4年度から未就学の子どもの均等割の軽減を予定しているが、独自に高校生まで対象を広げる自治体が広がっている。諏訪市の考えは。

答 財源確保が課題。
要望 基金を活用して実現を。

問 本年度基金残高が4億4千万円を超えるが活用方法は。

答 2億円程度は常に基金を確保する必要がある。一方令和9年度までに資産割の廃止が決定されている。その際には、課税方式を3方式に変更するが、「被保険者」の税負担の「急激な上昇」を緩和するため、一定期間、基金を取り崩し、不足する税収に充てる。

●体罰に対する基本的な考え方

問 体罰の現状、実態把握は。

答 体罰は、指導の方法として厳禁であること、「教職員の綱紀粛正、非違行為撲滅」の一要素である体罰の禁止を学校職員の基本的なあり方としている中で当然のことであるが、諏訪市でも体罰を疑う事例は少ない。毎年、児童生徒や教職員、保護者への調査をしている。

問 体罰の影響をどう考えるか。

答 体罰そのものや前後の理由や背景となったことなど、子どもにとって苦悩に繋がる恐れがある。スポーツの世界などでは体罰を必要とする風潮を耳にするが、いかなる状況でも体罰はいい影響を与えない。

Special

用語解説

GIS は地理情報システムの略称です。PC で地図情報の上に例えば空家情報などを重ねて表示できるものです。諏訪市は3システム導入しています。

ゼロカーボンとは、地球温暖化対策のために企業や家庭から排出される CO₂ などの温室効果ガス(カーボン)を削減し、削減しきれない排出量を森林などの吸収分と相殺して、実質的に排出量0(ゼロ)を目指すものです。

財源振替とは、事業に支出するお金の入金元を変更することです。災害時などにとりあえず一般会計から支出し、その後国、県からの交付金があったときにその交付金を一般会計に戻します。

AI は人工知能の略称です。問題解決などの知的行動を人間に代わって PC に行わせる技術のことです。

一般質問

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。*各議員のQRコードから一般質問の動画にリンクできます。



小松 孝一郎



●諏訪湖に異変！漁獲量の超激減！

問 諏訪湖のワカサギの投網漁が資源確保の観点から2か月前倒しで終了。手長エビ漁も1か月が20日間で終了。鮒・鯉も取れない。漁獲量の推移をどのように捉えているか。

答 大変厳しい状況。鳥類や外来魚による食害、魚類の隠れ場がないなど複合的な要因による。

問 諏訪湖の湖内・湖底環境が悪化している。県のデータでは、最大水深が13年間で50cm浅くなっている。流入河川と唯一の流出河川の天竜川の水質データをみると諏訪湖を通ることにより2倍から6倍汚染されて排出される。市の見解は。

答 状況は共有している。県の諏訪湖創生ビジョン、諏訪湖水質保全計画に基づき、各種取組を実施。

問 この状態が続くと観光・飲食・漁業など産業や自然環境に影響が出る。市は何をするべきか。

答 諏訪湖漁場活性化協議会を設け魚食性鳥類の追い払い事業を実施。県と連携し事業を進める。

魚の住める諏訪湖を取り戻そう！



● 岳麓3市町村は、

八ヶ岳西麓の環境・観光・農業などの自然環境将来ビジョンを検討中。

問 諏訪湖の湖内環境の悪化が環境や産業に及ぼす影響は湖周で共通。

答 連携協力が絶対必要。湖周2市1町で諏訪湖の自然環境将来ビジョンを検討する場を設置する考えは。

問 諏訪湖創生ビジョンがあり、湖周岳麓を含めた推進会議組織で活動中。湖周2市1町は春秋の一斉清掃で連携している。

要望 現在の活動では解決しない。危機感を持ってほしい。一度壊した自然は戻らない。諏訪湖となると県の問題だと言われる。市として積極的に関与することや県に強く働きかけることを要望する。



横山 真



●みんなが主役のまちづくりについて

問 公共施設をより利用しやすい制度を増設する考えは。

答 施設の廃止や集約化の際は利用者に代替施設を提案するなど活動の場の担保が課題。利用時間、使用料、減免の新基準を設ける全庁的な協議を進めたい。

問 公共窓口でのキャッシュレス決済導入は。

答 日常生活で普及が進み、需要がありコロナ対策にもなる。市民サービス向上や業務効率化に向けて決着の導入を前向きに検討している。



2021年度 総務省 統一QR「JPQR」普及事業
総務省が推奨するキャッシュレス決済

問 災害時等救護支援システムを導入する考えは。

答 災害対応上有効なツールだが、新型コロナウイルス感染症の影響で訓練ができず議論は進んでいない。

通常業務で使える統合型GISを手始めに導入し、検証したい。

●移住促進のためのリモートワーク試験的運用について

問 リモートワークの場として、諏訪市の宝である霧ヶ峰高原や諏訪湖畔などが管理する場所を提供できないか。

答 個人所有のスマートフォンやパソコンの通信料も定額や格安プランも多く出ており、仮にWi-Fi環境が整っていない状況でもリモートワークは可能であり、霧ヶ峰高原、諏訪湖畔を始め諏訪市全域がリモートワークに適した場所であると考える。

問 諏訪湖畔をイートインスペースとして利用できるようお願いしたい。

答 公園利用について飲食の制限はしていない。ソーシャルディスタンスにご配慮の上、芝生やベンチなど有効活用していただきたい。

問 コロナ禍で低迷する飲食店関係のキッチンカーやお弁当販売など湖畔駐車を活用しては。

答 公園管理者として積極的に協力する。1月末に諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会を開催し、状況等を報告し今後の方針を定める。

一般質問



牛山 智明

●AIを使った仕事改革について

問 橋梁の劣化診断ソフトを活用する考えは。

答 ソフト活用については、橋梁の表面状態が変色水垢などに左右される事など課題もある。規模の大きな橋梁においては、交通規制、高所作業車が必要になることから、可能な範囲で徐々にソフト導入を検討するとともに、今後低廉で効率的に点検が出来る新技術について研究する。

問 水道管劣化診断ソフトを活用する考えは。

答 全国の六事業体で実証実験を行っている。先進市の情報を参考に導入に係る費用対効果など研究・検証を行い、有効であれば活用を検討する。

●交通対策としての電動アシスト自転車活用について

問 高齢者・一般家庭への購入補助金の考えは。

答 市民の健康増進・環境負荷の軽減など多方面からのアプローチが考えられる。補助金については、まず市

内・域内の課題、安全の確保、目的など整理し検討していく。

問 職員の移動手段への活用は。

答 電動アシスト自転車を一所有している課がある。利便性について、

街中の住居を訪れる際、狭い道路が多いので車より、小回りが利き移動しやすい。今後、公用車や共用自転車の状況を踏まえて導入を考える。

●サッカーのヘディングによる子どもの脳へのダメージについて

問 市はどのような対応を考えているのか。

答 近くから軽くトスをしてヘディングするという練習をしている。強いボールやロングボールに対してヘディングで対応する戦術もしていない。以上のことから市から学校に対して特段対応をしない。



ヘディングの脳への影響は？



廻本 多都子

●高齢者の支援策について

問 近年高齢者の交通事故が社会問題となっており、免許証の自主返納の推進も進んでいるが、その傾向と支援策はどうか。

答 ここ3年は増加傾向。65歳以上の返納者には、かりんちゃんバスの回数券を交付。バスの路線は7つで通勤・通学に加えて観光や買い物や通院にも利用できる。

問 自家用車を利用している高齢者のブレーキ補助装置への補助制度はどうか。

答 サポカ補助金の活用を周知するとともにほかの自治体の補助制度を検討

外出支援に関するサービス・活動	
福祉交通株式会社 福祉タクシー 福祉バス 福祉タクシー 福祉バス 福祉タクシー 福祉バス	第一交通株式会社 福祉タクシー 福祉バス 福祉タクシー 福祉バス
福祉タクシー 福祉バス 福祉タクシー 福祉バス	福祉タクシー 福祉バス 福祉タクシー 福祉バス

「暮らしのお役立ちガイド（社協発行）」に載っています

していく。

問 高齢者タクシーを利用しやすくするために制限の緩和はどうか。

答 利用率は64%で、利用者やケアマネージャーなどの声を聞き有効活用に努める。

●コロナ禍における教職員の働き方

問 地域で子どもたちの見守りや、学校の消毒などのボランティアをされている方から、コロナ禍では職員の負荷が大きいのではと指摘されたが状況はどうか。

答 感染症が猛威を振るっていたころは教職員の負担が大きかったため、ボランティアの方々を支えていただき感謝している。現在は状況が落ち着いている。

●コロナ禍における農業への支援策

問 気候変動による農業被害が甚大化している中で、コロナ感染症での需要減による在庫過多によって、お米の価格が暴落しているが市の状況は。

答 長野県は全農長野等関係者の尽力によって全国より下落幅は抑えられている。関東農政局とのヒアリング時に米農耕者への支援策を要請したい。

一般質問



岩波 万佐巳



● 保育園・小中学校の給食について

※(保) 保育園、(学) 小中学校

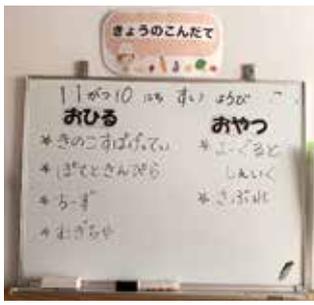
問 地元の野菜等はどの程度仕入れられているのか。

答 (保) 優先して納入、一部は直接調達、夏場は地元産が多い。(学) 卸業者に見積りを取り、価格に大きな差異がなければ地元や県内産を発注するようにしている。一部直接調達もしている。

問 地元の規格外の野菜等を給食に使用することは可能か。

答 (保) ひと月単位で一括発注、安全性・新鮮さ・品質を含め一定量を継続的に供給でき、確実な納期を確保する必要があるため、課題が多い。

(学) 食材の安全性・品質・安定的な供給、確



保育園給食

実な納期が確保できれば価格も比較する中で可能である。

問 どのような食物にアレルギーが出るのか。

答 (保) 多い順に鶏卵、ナッツ類、牛乳、乳製品。(学) 他に果物、小麦、蕎麦、大豆、甲殻類等多種多様。

問 食物アレルギーの子は何人くらいいるのか。

答 (保) 公立保育園1、144人のうち67人で、年々増加傾向。(学) 10小中学校3、570人のうち130人程度で、増加傾向。

● 高齢者の運転免許証返納について

問 運転免許証自主返納者へのかりんちゃんバス回数券の交付について、内容と手続き方法は。

答 かりんちゃんバス回数券の交付については警察署で免許証を返納した際に交付される「申請による運転免許証の取消通知書」を持参して申請してもらえば、回数券1冊12枚綴りを1回交付。免許証の更新をしなかった方も同じような対応をする。

問 同様にタクシー割引について。

答 警察署で発行している「運転経歴証明書」をタクシー降車時に提示すると長野県内どこでも運賃が1割引になる。発行手数料は1、100円が自己負担。



小山 博子



● 補助犬利用の支援の拡充と周知

問 補助犬利用に際し、毎月の諸費用は、障がい者にとって負担が重いので、支援の拡充をお願いしたい。また、公共施設等での周知も十分ではないと思われるがどうか。

答 当市では、月額3千円の助成事業を実施。他の障害福祉サービスとのバランスなどを確認し、今後研究する。また、当市役所は補助犬の同伴は可能。早速、市役所出入口に「ほじょ犬マーク」の掲示を行った。障がい者に対する合理的配慮の提供という観点から、まずは周知啓発に取り組んでいく。



身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです

要望 経済的に余裕のある方だけでなく、希望者に補助犬の利用が可能となるよう支援をお願いしたい。

問 教育の場での周知は。

答 教育現場での学習や体験は、寄り添う心を養う観点から大切なことと受け止める。どのように学ばせるか、教材に取り上げることが可能かも含め、学校に紹介していく。

● 不登校の子どもたちの支援について

問 フリースクールに通う子どもたちへのタブレットの支給は。

答 児童生徒には、個人へ貸し出すということが基本。現状では、全ての不登校の児童生徒が使用できる状況には至っていないため、今後の課題と認識している。

問 民間団体との連携は。

答 策定した「不登校児童生徒を支援する民間施設等に関するガイドライン」を基本として連携を進める。

問 出席扱いについての措置は。

答 一定の要件を満たす場合に、民間施設等において相談・指導を受けた日数を指導要録上の出席とすることができるようになっている。

要望 未来へ思い描く夢が、学校に行けなかったという理由だけで、その可能性が限られることのないよう、できる限りの支援をお願いしたい。

一般質問



●小中一貫教育について

問 施設併設型の上諏訪小・中学校の進捗状況は。

答 小中での9年間の学習内容の連続性から考え、算数から数学、英語などの教科で学年のつながりに留意し、複数の教員できめ細かく対応している。また、小中の教員の相互乗り入れ、中学生による読み聞かせ、合同避難訓練など集団での交流が始まっている。成果の評価と検証をしている。

問 成果、問題点、改善対策は。

答 小学6年生の中学校での学習について、「良くなる」、「わかる」が約8割に達した。また学習面以外では、中学生が小学生に優しく接するなど新たな人間関係が生まれた。教員においては児童生徒のサポートをするために、人員の確保が必要。また、小学校は45分、中学校は50分と、授業時間の違いによって時間割の統一ができない。

問 今後の展開は。

答 次期展開については、南部地区（四賀小・中洲小・諏訪南中）とし、

課題を整理検討し令和4年度以降、本格的に再編手法や設置時期などの検討を行う。



上諏訪小・中全景

問 小中学校の所在が離れた施設分離型の今後の展開について

答 東部・南部・西部地区ではそれぞれ1校の小中一貫校を目指している。現在施設分離型でも実践可能な一貫教育を進めるため、全小中学校の教員代表による小中一貫教育プロジェクト推進委員会を立ち上げ、「学力・資質向上」と「交流」の2つの分科会において、研究・実践を行い、令和5年度開始に向け準備している。また、先行の上諏訪小中学校の実践の評価・検証結果を踏まえ、施設分離型の具体的な教育課程の構築を図っている。



●市民生活を助ける補助金・助成制度について

問 ごみ有料化から生ごみ堆肥化容器・ごみステーション整備・個別収集補助金の状況は。



整備後のごみステーション

答 堆肥化容器設置等は、補助率は、補助率を拡大し、約2倍に伸びている。ごみステーションの整備は、1か所最大20万円、10/10の補助率で12/380ヶ所の実績。有料個別収集は3世帯。

要望 有料個別収集は、介護認定を受けられない人が多い。介護度を除く優しい制度を望む。

問 地域猫の苦情・相談・対応や、ペットフードドライブの考えは。

答 町内会への啓発看板配布や猫の

嫌がる薬剤の配布を行い、避妊に関しては、この10年間で5団体178万円補助を行った。ペット用品や猫の譲渡等団体へ照会できる仕組みづくりをしていきたい。

問 不妊・不育の現状・サポート体制は。

答 令和4年度より不妊治療に保険適用予定で、市単独の補助は検討を考えている。不育に関しては、諏訪圏の専門病院は2件。実態がつかみきれない。産後ケアは、流産・死産を経験された方も諏訪圏ではサービスを受けられる。

要望 不育の専門医も諏訪圏に少ないなら、不育治療に関し補助率アップや交通費補助も考慮を希望する。

●サイクリングロード・湖岸線整備について

問 歩行者優先のサイクリングロード整備、階段の手すり設置・整備後の観光地へ延伸整備・湖岸線の渋滞は。

答 手すりは、市民要望もあり設置する方向。歩行者優先については、県と2市1町で歩行者横断指導線を設置する。観光エリアは、湖周から5キロ以内を計画エリアとしている。渋滞は公安と検討する。



藤森 靖明



●空き家に関する新たな取組について

問 諏訪市空家等対策協議会より発行された「あなたの空き家大丈夫ですか？」のパンフレットの「反響は」

答 掲載した支援制度の活用に関する相談や隣接する空き家の維持管理に関する相談等が増加し、空き家跡地活用支援事業補助金の件数も昨年同様に活用いただけている。

問 パンフレットの作成・配布に係る課題は。

答 空き家所有者だけではなく、区としても空き家に対する様々な問題（防犯、管理、区費等）を抱えており、対応に苦慮している状況を確認することができ、空き家にお困りの区や市民にも必要な情報が届くよう、より充実した内容、効果的な配布方法を検討する。

問 諏訪市空き家マッチングサービスについて官民連携の可能性は。

答 空き家の利活用の取組は、民間活力や関係団体との連携が不可欠と考え、将来的には空き家のリノベ-

ションやまちづくりに積極的な団体等との連携などサービスを拡大展開できるかを研究する。



好評なパンフレット

●地域の防災・危機管理について

問 情報提供についての問合せは。

答 防災行政無線が聞こえないときの対処法について、10月下旬に各区の回覧板にて防災メールの登録やフリーダイヤルのご案内をさせていただいた。防災メールの新規登録者は、

11月1日から28日までの集計で400件。昨年同時期が49件だったので、多くの方々に登録をいただき、案内を行った効果があった。

問 備蓄品の使用状況は。

答 食料(乾パン)は補充を行い、毛布はクリーニングと真空圧縮を行い再保管した。各消防団用土のう補充分として1,250袋と、市保管分として災害前と同程度の800袋の在庫を確保した。



近藤 一美



●歩け・歩けのまち諏訪市をめざせ！

問 諏訪湖DEウォークについて

答 市制80周年記念企画で、参加募集員を60人に設定した。結果は定員いっぱいの方に参加いただきアンケートの結果も好評で、当初の目的を達成した。

問 参加者の地域別ではどうか。

答 諏訪市が54%、その他の諏訪地域25%、諏訪地域以外の県内が15%、県外6%であった。

要望 諏訪地域以外で21%の参加者があったのは、諏訪湖のブランド力で、今後の観光戦略の参考にしていただきたい。

問 目標達成者数と歩行距離は。

答 80キロ以上歩いた方は341人であった。平均は一日約6キロ、最高は一日平均21キロで毎日ハーフマラソンの距離を歩いたことになる。

問 今後の活かし方について。

答 ウォーキングを通じて健康増進に役立った。また市外の参加者に諏訪湖を訪れていただくことにより観光面での効果があり、健康増進、観光

面で今後もこのイベントをいかしていきたい。

要望 年間を通じて歩行数・距離を、希望者にはランキング表示をしていただきたい。

●健康長寿都市諏訪の実現について

問 すわっこいきいき体操について

答 地域に根差した健康づくりにつながるものと考え、リーダー養成講座を開催し、普及・促進をしている。

要望 1回3分間、毎日やることで効果がより更なる普及をお願いする。



「リーダー資格」を取得しました。1日3分継続することで効果あり！

●公設地方卸売市場消費税未申告の件

問 期限後申告となり、無申告加算税32,000円が発生した。業務進行シートは見直されていなかったのか。

答 業務進行シートに記載がなく結果的には、今回の市場での事案を受け、見直しをして追記することになった。

一般質問

問 令和4年度までの3年間の建設工事等の入札参加申請を、令和4年2月より定期受付を開始する予定で、協力雇用主制度については地域貢献といった視点から導入できるように調整を図る。

答 令和4年6月から令和7年5月までの3年間の建設工事等の入札参加申請を、令和4年2月より定期受付を開始する予定で、協力雇用主制度については地域貢献といった視点から導入できるように調整を図る。

問 入札参加申請における客観点数の加点項目に協力雇用主の登録企業への加点導入の考えは。

答 刑法犯の検挙人数は減っているが、再犯者の割合は増加傾向にある。計画策定の意義、重要性を認識し、再犯防止計画策定に向けて準備を進める。重要な計画と認識しており、時期を逸することなくできるだけ早期に計画策定の準備を進めたい。その際には保護司会をはじめ更生保護活動に携わっている皆様にご協力をいただきたい。



伊藤 浩平

●再犯防止推進計画の策定状況は

問 令和4年度までに策定の努力義務が国より掲げられているが、取組状況は。

答 刑法犯の検挙人数は減っているが、再犯者の割合は増加傾向にある。計画策定の意義、重要性を認識し、再犯防止計画策定に向けて準備を進める。重要な計画と認識しており、時期を逸することなくできるだけ早期に計画策定の準備を進めたい。その際には保護司会をはじめ更生保護活動に携わっている皆様にご協力をいただきたい。

●ゼロカーボンの取組としての温泉について

問 共同温泉利用者または自宅への温泉給湯者が、自宅でお湯を沸かし入浴するとすると多くのCO2排出増加となる。この方々は長年にわたる自らCO2排出削減に取り組んできたのではないかと考える。ゼロカーボンの取組として、違う視点からの支援は考えられないか。また、国・県へも支援を求めてほしい。

答 天然温泉についてはゼロカーボンに貢献しているとの考えもある。現在、国及び県を含めてゼロカーボンへの取組としての共同浴場、自宅給湯への支援はないが、ゼロカーボン施策の情報把握に努め、温泉のゼロカーボンに対する有効性をPRしていきたい。温泉事業をしている各種団体等と情報交換しながら取り組んでいく。



CO2排出削減に貢献している共同温泉浴場



議会だより モニター通信



議会だより86号のアンケート結果

モ

「決算委員会」「総務委員会」「社会文教委員会」報告は簡潔記載が難しいものとは思いますが、よくまとめられていると思います。ただ補正予算別表記載欄と審議内容記載の対比が分かりづらい。例えば、審議記載の中に「議案第41号」とあるが別表には議案第41号は民生費欄と災害復旧費欄にあり、見つけづらい。可能であれば参考符号（イロハとかabcとか）別表に付記してもらえると分かりやすくなるのではないかと。

モ

議案・代表質問・一般質問の質疑について、限られた誌面の中で簡潔によくまとめられている。

モ

嬉しいご意見ありがとうございます。代表・一般質問に関しては各議員がまとめ、写真を用意しているので、各議員へ伝えたいと思います。

議

議

① 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。



② 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。



③ 紙面構成、レイアウトはいかがですか。



④ 写真や図の使い方はいかがですか。



★たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。

議 長 室 から こ ん に ち は !



記念式典にて

令和3年12月18日、延期となっておりました市制施行80周年記念式典が挙行了れました。各分野でのご功績により表彰を受けられました皆様に対しまして、心より感謝と御礼を申し上げます。式辞の中で市長は「市民と行政とが力を合わせ、人が集い育ち、ここに暮らす幸せを実感できる輝く諏訪を築いていきたい」と申されておりました。まさに私達も共感する部分であります。皆さんの手で守り、育んできた自然・歴史・伝統・文化などの貴重な財産を受け継ぎながらさらに磨きをかけ、「愛する諏訪」を次代にしっかりとつなぐよう全力を尽くし取り組んでまいりたいと、決意も新たにしております。

議長 吉澤 美樹郎

議会に参加しましょう

3月定例会は、**2月21日(月)** 招集予定です。

詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会を傍聴しましょう!

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。本会議は当日の受付で傍聴できます。ご希望の方は、諏訪市役所議会議棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。託児サービスは傍聴希望日の5日前までにお申し込みください。



傍聴の際は防寒対策をしてお越しください



請願・陳情を出しましょう!

議会に対して陳情書等を提出することができます。ご意見や要望がある方は、議会に文書でご提出ください。

締切りは2月10日(木)正午までです。

提出方法など、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンで見てください!

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」で生中継しています。また代表・一般質問の映像はYouTubeにアップしています。各議員のQRコードを読み込むと動画が見られますので、ぜひご覧ください。

なお、過去の本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

3月定例会のテレビ中継日程予定

月 日	会 議
2月21日(月)	提案説明、議案質疑、付託
2月28日(月)	代表・一般質問
3月 1日(火)	一般質問
3月 2日(水)	一般質問
3月15日(火)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。

議 会 だ よ り 編 集 委 員

委 員	副 委 員 長	委 員 長
小 泉 正 幸	森 博 美	高 木 智 子
藤 山 靖 明	高 木 智 子	廻 本 多 郎
小 松 孝 一	小 松 孝 一	小 松 孝 一

編集委員よりひと言

明けましておめでとうござい
います。コロナ禍で人との繋が
りが少し薄くなっているよう
に感じてしまっているだけで
しょうか?そんな中、カリンの
袋掛け・摘果作業のお手伝い
をした時のお礼のお手紙を頂
きました。とても暖かい文面で
手に取るようにその思いが伝
わってきました。

議会だより第87号を作成す
るにあたり議会だよりモニタ
ーの皆様からのご意見を頂き
また参考にながら編集委員
会では右往左往しながらも見
やすく、読みやすく、伝わりや
すくを常に追求し編集してい
ます。そして至るところで「次
の議会だよりはいつ発行す
ら?」の声が聞けることを願っ
ております。

編集委員 藤森 靖明

諏訪市防災無線フリーダイヤル、メールサービスをぜひご活用ください!

■防災行政無線フリーダイヤル 0120-68-8404(無料)

■防災メールアドレス 登録方法: 右記 QR コードを読み込むか、

bousai.suwa-city@raidan.ktaiwork.jp に空メールを送り、
返信メールに従って登録してください

